

ラグビーワールドカップ開催に向けて

アジアでは初の開催となるラグビーワールドカップ 2019 まで 2 年を切りました。世界ではオリンピックとサッカーのワールドカップとこのラグビーワールドカップを指して世界の三大スポーツ大会と言うそうです。そして、富裕層が多いとされるラグビーファンが世界中から日本にやって来るのです。

先日発表された試合日程によれば、決勝と準決勝二試合が横浜の日産スタジアムで行われるばかりでなく、予選においても日本対スコットランド、ニュージーランド対南アフリカなど好カードが日産スタジアムで行われ、神奈川には世界の注目が集まることになります。

現在県では、この大会に向けてラグビーに対する県民の関心を高めようと様々な取り組みをしています。去る 11 月 19 日には海老名駅前中央公園にストリートラグビーの特設会場が設けられ、ラグビーの経験がない子供たちなどに、楕円のボールを持って走り、パスやトライをする楽しさに触れてもらうイベントが行われました。

ワールドカップ開催中には決勝の地・横浜に近い、海老名のまちにも多くの人たちが来日されることと思います。これを機に世界の人々と交流し、日本という国、その文化を世界の人たちに発信できるような大会にしたいものです。



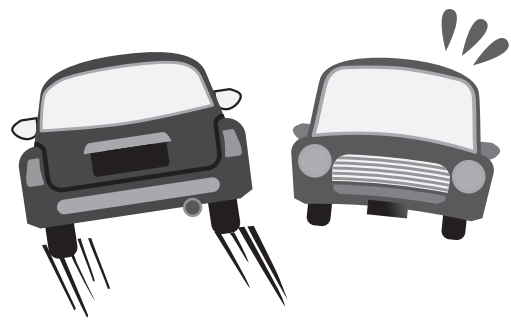
危険なあおり運転、取り締まりの強化を！

今年 6 月に県内の東名高速道路で発生した「あおり運転」とそのあげくに夫婦二人が死亡した事故を契機に、危険な運転をするドライバーに対する問題がクローズアップされています。こうした事件はこればかりでなく、栃木県では平成 24 年、あおり運転をされた車が前の車と衝突し、衝突された車の女性が重傷を負い、あおり運転をしたドライバーが危険運転傷害と、ひき逃げの罪で懲役 6 年の刑となったほか、前方のバイクを転倒させ二人の人を死傷させた静岡県の男性ドライバーには懲役 12 年の実刑判決が言い渡されこともあります。

先日行われた神奈川県議会の自民党代表質問においても私たちはこの問題を取り上げ、県警本部に対して取り締まりや啓発の強化を求めました。

警察としては危険な運転をする車を見つけた場合には、その場で検挙することができますが、

警察の目の届かない場所での行為についてはなかなか取り締まりが難しいのが現状のようです。日本のドライバーの二人に一人が、危険なあおり運転をされた経験があると答えているそうです。今も師走の気ぜわしい季節ですが、心にゆとりを持ってハンドルを握ること、そして万が一こうした危険行為を受けた場合には、冷静になって安全な場所に車を止め、警察に通報して頂きたいと思います。



この人紹介 | 海老名市医師会 会長 高橋 裕一郎 さん



今年で創立 30 周年を迎えた海老名市医師会。その会長を務めているのが海老名駅前で「腎健クリニック」を開業している高橋裕一郎先生です。宮城県出身の高橋先生は、北里大学を卒業後、非常勤講師を務めつつ、人工透析のエキスパートとして数多くの透析患者さんを診てこられました。ご両親も、3 人のお子さん

もみんなお医者さんの医者一家なのだそうです。

現在救急医療の充実や医師不足、回復期医療施設の不足など、様々な課題を抱える海老名市の医療。医師会の中で、いつもにこやかに、それでいて取り組むべきことには真剣に取り組まれる先生の姿勢に、私は心から敬服致しております。

アクティブ Vol.34

発行

ACTIVE

おさだ進治事務所
海老名市大谷北 1-5-27
Tel: 046-236-0505
Fax: 046-236-0508
osada@osadashinji.com



2017 年 12 月 25 日



http://osadashinji.com

神奈川県議会議員

おさだ進治

海老名商工会議所にて講演



取り組み」については、県のロボット推進センター（海老名市下今泉）からロボットキャラバンの皆さんにおいて頂き、実際にコミュニケーションロボットによる会話を実践したり、動画の上映を交えて AI（人工知能）や IoT（Internet of Things）などと共にこれから創造されて行くロボット社会についてお話をさせて頂きました。

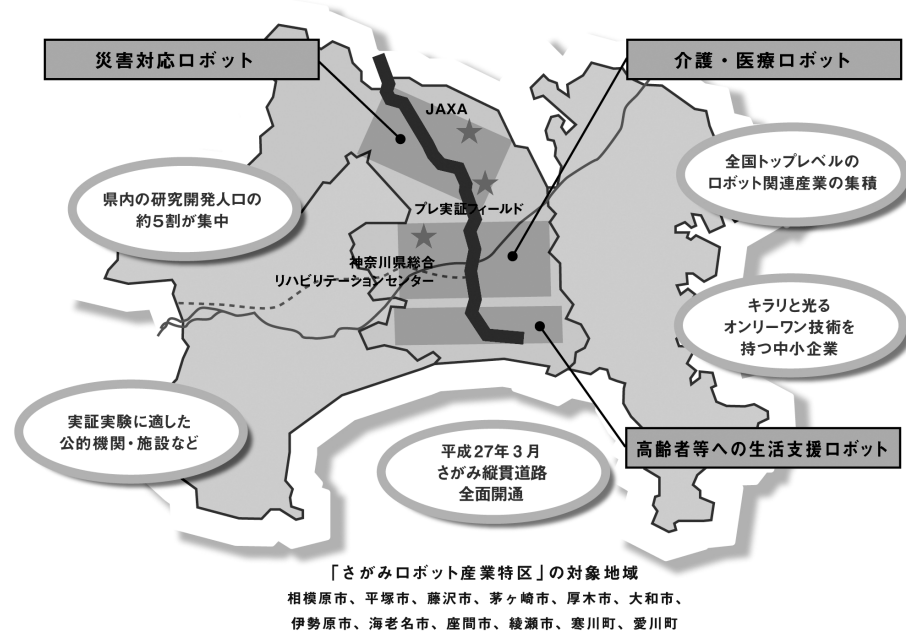
甘利代議士みごとと当選！ 日本経済のために正々堂々と取り組んで欲しい

突然の解散総選挙となりました。私は今回も地元神奈川 13 区から立候補した甘利明候補の選対役員として応援させて頂きました。

希望の党が嵐のような勢いに乗る中で始まった選挙戦でありましたが、それもたちまちのうちに失速。やがて立憲民主党が革新派の民意を引き付けて各地で善戦。これまで経験したことのない荒れ模様の選挙戦でしたが、甘利候補についてはやはり国政における経済政策を中心とした活躍が有権者に評価していただけたのでしょうか、見事な当選ぶりでありました。これから甘利代議士には正々堂々と日本の政界の真ん中で得意の経済政策を推し進めて欲しいと思います。

そして選挙の結果、我が国は引き続き自公による安定した政権運営が行われることと思いますが、私は安倍総理はじめ幾人かのリーダーの言う事に「右向け右」の政治ではなく、もっとモノを言う、次の時代を担える人材が出てくる自民党であって欲しいと思っています。





発展するまちだから こその危機感

11 月には海老名駅西口に 26 店舗の飲食店が並ぶ VINA GARDENS TERRACE が開業し、連日多くのお客さんで賑わっています。しかし、その一方で西口のデッキを降りた先の店舗などがどうなっていくのか心配でもあります。もちろん東口のビナウォークもそうですし、在来のお店などはこれからどのようなことになっていくのか…。大型のショッピングモールならば県内でも各地に似たようなものができています。やはり、「海老名にしかない」何かを見つけて育て、広い範囲から人がやってくるようなまちづくりをすることがこれからの海老名にとって非常に大切であると思うのです。

そこで私は、現在県が進めている「さがみロボット産業特区」の取り組みが「海老名に行けば、いつでも、全て、ひと目で見ることができる」そんなロボットタウンを創ることができたら良いのではないかと考え、現在神奈川県や海老名市、海老名商工会議所、海老名扇町エリアマネジメントの皆さんなどに提案を行なっています。

未来のまちは人とロボットが共生するまち

神奈川県では「さがみロボット産業特区」で目指す「ロボットとの共生社会」実現に向けた取り組みとして、ロボットとともに暮らす未来の社会を描いたスペシャルアニメ「ROBOT TOWN SAGAMI 2028」を公開しています。駅前の場面では案内ロボットや目の不自由な方の移動をサポートするロボット、無人運転バスなどが描かれています。「ROBOT TOWN SAGAMI 2028」で検索して頂けば Youtube で動画を見ることができますので是非ご覧ください。



さがみアトム



さがみロボット産業特区とは

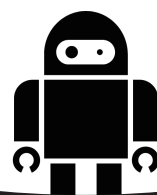
海老名にある県立産業技術総合研究所を中心に圏央道に沿ったエリアは、特区として国から指定を受けロボットの実用化や普及を推進する取り組みが進められています。そして同研究所内には「さがみロボット産業特区推進センター」が設置されています。

さがみロボット産業特区のエリアには相模原の JAXA（宇宙航空研究開発機構）を始め、海老名の株式会社リコー、介護ロボットの開発支援を行う神奈川リハビリテーションセンターなど、ロボット開発に有用な技術を有した企業等が 2 千以上立地しており、これらの技術やノウハウを結集して、次世代の私たちの生活と共存するロボットを世に送り出して行こうとしています。

この特区では、スタートからこれまでの5年間ですでに 15 のロボットについて商品化を実現しており、私はさがみから生み出されるロボットに「いつでも海老名に行けば触れ合える」そんなロボットタウンを創りたいと思っています。

特集

EBINA を ロボットタウンに!



青少年のための ロボフェスタ

去る 11 月 18、19 日の二日間、県立神奈川総合産業高校では「青少年のためのロボフェスタ 2017」が開催されました。県内の高校、大学やロボット産業に取り組む企業などから様々なロボットが展示され、見て、触って、動かすことができるブースなどでは子供たちが好奇心にキラキラと目を輝かせている様子が見られました。

「動くものが大好き！」は子供たちの特性。その子供の好奇心を育み、未来のロボット博士や技術者を育てて行く取り組みが神奈川県でも行われています。



海老名駅から県立産業技術総合研究所を 結ぶ無人バスを走らせたい



写真は横浜市金沢区の金沢動物園で行われた無人バスの走行実験の際のものです。皆さんもご存じの通り県立産業技術総合研究所は海老名駅からほど近い場所にあります。この間に無人バスを走らせ、職員や一般の人々を送迎することができないか？ 距離的にも無理がなく、交通量の面からも比較的安全なのではないかと思われるので、現在私は神奈川県にこれを提案し、今後の取り組みを求めています。